

(特非) 喜界島サンゴ礁科学研究所

喜界島をモデルとした地域主体型の サンゴ礁保全プラットフォームの構築

ひろげる助成

1年目

実践

プログラムの
半期参加者

798人

サンゴ種の養殖保存

27種

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

40%



巨大ハマサンゴ周辺をリーフチェック

課題

サンゴ礁は沿岸生態系の生物多様性を維持する重要なプラットフォームであるが、地域住民の自然環境に対する関心・意識の向上を目的とした取組みが限られている。

目標

地域住民の自然環境に対する意識向上と保全活動を促し、それを将来にわたって持続的に支え、適切な環境教育を提供できるようなプラットフォームを地域に定着させる。

活動内容と成果

海洋観測を週1回、潜水調査を5回実施し、リーフチェックサイトを6件選出した。リーフチェックの実施後、報告会及び広報誌で報告記事を掲載した。当該海域に生息するサンゴ種と生息環境を4回調査実施した。3回実施した地域住民向けの調査報告会では、計190人が参加した。学校教育と連携したサンゴ養殖では、喜界町の小・中・高校と協働した海洋教育授業を実施した。エコツアー活動では現地調査を3回実施し、ツアーサイトを9地点選定した。喜界町内の7団体に協働を提案し、地域主体のジオエコツアー開催を検討している。



地域住民向け調査報告会の様子



今後の
展望

今後も海洋観測とリーフチェックを実施し、喜界島の海洋環境調査を継続する。小中高との連携した海洋教育授業やサンゴの養殖保護活動も活発化させる。地域での調査報告会や地域協働型のジオエコツアーを開催する。

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

台風など悪天候でリーフチェックのスケジュール調整に苦勞した。足を運んでもらったのに参加できなかった参加者もいた。

■ 工夫した点

活動の様子は、SNS・機関誌・喜界町広報誌で報告し、積極的な情報発信を行った。

活動地域 |  鹿児島県大島郡喜界町

〒891-6151
鹿児島県大島郡喜界町大字塩道1508
電話：0997-66-0200
E-mail：mail@kikaireefs.org
http://kikaireefs.org

